



カリオン

Red Cross Society Himeji School Of Nursing | carillon



Vol.
39
2019.10

TOPIC

第47回フローレンス・ナイチンゲール記章授与式

私たちは8月7日に東京プリンスホテルで行われた記章授与式に各学年を代表して参加させて頂きました。

在宅看護において活躍される秋山正子さんと、教育や国際活動に尽力された竹下喜久子さんのお二人が授与され、その姿はとても感動的でした。午後からはお二人の講演を聞き、患者さんの生活背景を知り、それを看護につなげていく大切さを改めて感じました。今回お二人の講演から学んだことを実習や今後の勉強に生かしていきたいと思います。

(クラスII)



後期行事予定(令和元年10月～令和2年3月)

10月 1日(火) 後期授業開始
10日(木) クラスI・II トレーニングセンター
25日(金) クラスI 戴帽式・戴帽を祝う会
31日(木) 関西看護学生看護研究大会
クラスIII 発表・クラスII 聴講

11月 2日(土) オープンキャンパス
9日(土) 令和2年度社会人入試
22日(金) 球技大会

12月 25日(水)～1月6日(月) 全クラス 冬季休業

1月 22日(水)・23日(木) 令和2年度一般入学試験
24日(金)～2月10日(月) クラスI 基礎看護学実習II

2月 12日(水)～ クラスII 領域別実習開始
16日(日) 第109回看護師国家試験

3月 4日(水) 卒業を祝う会
6日(金) クラスIII 卒業式
19日(木) 第109回看護師国家試験合格発表
20日(金)～4月3日(金) 全クラス 春季休業



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心をもち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

第3回 ホームカミングデー

令和元年6月29日(土)

ホームカミングデーの開催は今年で3回目となり、22名の卒業生が帰ってきてくれました。

まず、柳副学校長より、第10回全国看護学生作文コンクールの表彰をして頂きました。そして、近況報告では、できることが増えてきたり、何もできない自分が情けなくて落ち込んだり……。でも、患者さんの「ありがとう」と言う言葉に励まされていると話してくれました。辛いことやしんどいこともあると思いますが、患者さんのために頑張っている仲間がいます。これからいろいろなことを吸収して看護師として成長できるよう、私たち教職員も応援しています。

(専任教師：神戸 真由美)

ホームカミングデーに参加して

ホームカミングデーに参加し、実習や国家試験を共に乗り越えてきたみんなや先生と会うことができました。仕事の話だけでなく、学生の頃の話やプライベートな話をして、有意義な時間を過ごすことができました。夢であった看護師になり患者さんのために何ができるだろうと考えて看護を行っているみんなに刺激をもらい、また頑張ろうと思えることができました。いつまでも支えあいながら一緒に成長していきたいと感じました。

(8階西病棟)



作文コンクール表彰

第10回全国看護学生作文コンクール入賞

佳作：「自分を受け入れるということ」

校内賞授賞

学校長賞：「声なき声」

事務部長賞：「患者を思う看護とは」

教職員賞：「生まれる瞬間」

今回看護学生作文コンクール校内賞「事務部長賞」を頂き、嬉しい気持ちと気の引き締まる思いです。臨床の場に出ると、やはり学生のころと比べて一人の患者さんと関わる時間が少なくなってしまう。だからこそ、患者さんの状態だけでなく、一つ一つの言葉に耳を傾け関わっていきたいです。看護師としてまだまだ未熟ではありますが、患者さんを思う看護とは何なのかを考え、実践していけるようこれからも精進していきます。

(7階東病棟)



卒業生の様子

私は、4月から保健師の資格取得を目指して、大学に編入しました。入学後、保健師課程選抜試験に無事合格し、クリニックで働きながら保健師を目指して学びを深めています。一番興味深かったのは、健康学習論という授業です。私はフレイル予防の健康教育を考え、地域の皆さんに発表しました。実際に意見を頂き、どうすれば伝わりやすいのか、行動に繋がれるのかを深く考えることができました。今後も、努力を惜しまず、頑張ります！

(神戸市看護大学看護学部看護学科：平成30年度卒業)



本社研修

令和元年7月7日(日)

今回、私たちは日本赤十字看護大学で8校の赤十字看護専門学校の学生と一緒に研修に参加しました。その中で「赤十字の一員として大切にしたいこと」「今私たちにできること」について他校の学生と話し合いました。私たちは日常的に関心を持ち、思いやりの気持ちを行動に移していくことが大切だと思いました。しかし、実際に行動に移すことは難しいと思います。だからこそ、今、学生の間から人との関わりや何事にも全力で取り組む姿勢を大切に頑張っていきたいと思いました。

(クラスII)



一人暮らしの看護学生の生活

ひとり暮らしは自由度が高い事が魅力です。何をしても好きなタイミングで好きなことが出来ます。自炊や掃除洗濯等の家事が大変だと思っておられるかも知れませんが、自分1人だけなので意外と少なく、それほど負担ではありません。ぜひみなさんもまだ余力のある学生のうちに経験しておくのはいかがでしょうか？

(クラスI)



一人暮らしをするようになって、強く感じることは、家事の大変さです。今までは帰ってくると美味しいご飯に温かいお風呂と何の行動をせずとも準備されていたことを自分で行わなければなりません。ほんとうに家族に感謝だなぁと実感しました。今ではだいぶ慣れ効率よくできるようになりました。ですがやはり食事面では、母の作る料理に敵うはずもなく、帰省する際の一番の楽しみとなっています。徐々に母の作る味に近づいていければいいなと思い、帰省の際は一緒にご飯を作るようにしていきたいです。

(クラスII)

一人暮らしを始めてから1年半が経ちました。一人の生活に慣れ、充実した生活を送っています。変わったことといえば、一人暮らしをする前よりも友人や家族に悩みを話したり、近況報告する機会が増えたように思います。誰かに話を聞いてもらうことが今の私にとって大きな励みになり、日々の力になっています。

(クラスIII)





夏休みの



私は友人と台湾へ行って来ました。食べ歩きや観光をする中で、日本と海外の文化の違いを肌で感じ、とても充実した4日間を過ごすことが出来ました。

行き当たりばったりの旅行でしたが、友人と2人でなら、どこに行っても楽しく、ハプニングも今では素敵な思い出です。今回の長期休暇では沢山リフレッシュすることが出来ました。後期からも気持ちを切り替えて学校生活頑張っていきます。

(クラスI)



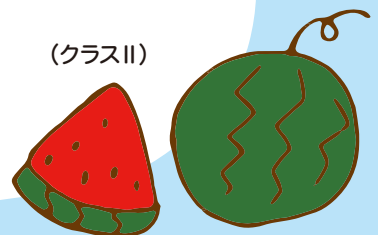
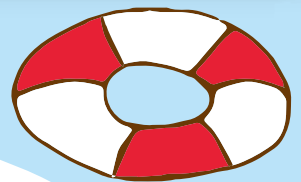
私は、クラスメイトの個性豊かな8人組でお泊り会&BBQをしました。2日間皆と一緒に過ごし、普段の学校生活では見られない意外な一面も見られ、皆との絆がより深まったように感じました。夏休み明けからは前期テストや清拭の実技テストがあるので、気を引き締めて頑張っていきたいです。

(クラスI)

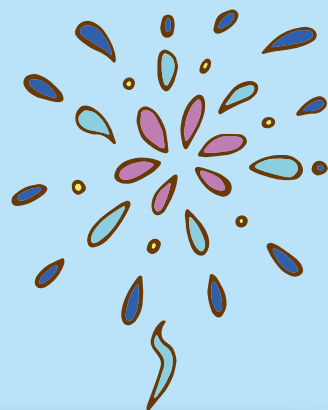
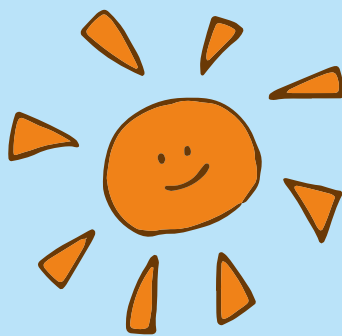


私は高校の時の同級生と東京へ行きました。大好きなアーティストのライブがあり東京へ行ったのですが、その前日にチームラボへ行ったり、みなとみらいで夜景を見たり、友達の誕生日が近かったのでホテルに帰ったらサプライズパーティーをしりと充実していて楽しい思い出になりました。

(クラスII)



思い出



私は夏休みに子供と「かぶとむしど〜む」という所へかぶと虫と触れ合いに行きました。沢山のかぶと虫や幼虫を間近で見たり、実際に触ったりと自然と触れ合いました。自然と触れ合うことで命の大切さを学んでくれたと思います。私も子供と一緒に沢山の経験を通して感性を高めていきたいと思います。

(クラスIII)



家族と妹が通っている学校の友達と一緒にBBQや花火をしました。妹の友達はベトナム出身なので、ベトナムのことや日本との違いなどについて知ることができました。海外の人と話したり交流する機会はあまり無いので、外国のことを知るととても良い機会となりました。楽しかったです。

(クラスIII)



私は夏休みにインターンシップに行きました。自分が将来働くことを考えながら見学をさせていただきました。患者さんとの関わり方や、看護師同士の連携についてみると、どの看護師も患者さんのことを第一に考え、自分が何をすべきなのかを自ら考えることをされていました。そして、自分の考えを持った上で先輩看護師や同僚に相談し、考えを深めている様子も伺えました。なんでも相談することができる環境が整っており、さらにアドバイスや案を出し合える仲間がいる中で働けることはとても素敵だと思いました。今回のインターンシップは自分の将来を考えるための良い機会となりました。

(クラスII)



✚ 赤十字科目を受講して

6月下旬より約2週間、日本赤十字社幹部看護師研修センターで開催された、赤十字科目Ⅰを受講させていただきました。この研修では、全国の赤十字施設から集まった看護師と共に日本赤十字社の災害看護の歴史や過去の救護活動から得られた経験・知識をはじめ、災害救護活動に必要な技術、態度、心構えを実践に即した演習で学びました。今後の看護基礎教育における災害看護や防災・減災教育に役立てていきます。

(教務助手:石谷 尚美/写真右下)



授業参観 (ケーススタディ)

● ケーススタディ発表

今回ケーススタディの発表を通して、自身の行った看護について、自分自身が患者から何を感じ、どう考えたからその看護を行なったのか、自身の傾向を改めて考え直すことができたと思います。また他の学生の発表を聞くことで、お互いの看護観を知り、自分にはなかった新たな視点を学ぶことができたと思います。

両親に3年間の成長を少しでも見てもらうことができて、良かったです。

(クラスⅢ)



● 授業参観に参加して

ケーススタディの発表があると聞き、家で頑張って資料を作っていたのを見ていたので、是非聞いてみたいと思い、今回初めて授業参観に参加させていただきました。

発表を聞いて、患者さんの病気・病歴等を調べ、どのように接して看護していくのか考えたり、ご家族にも心のケア等している事に驚きました。

看護師のタマゴとして、子供の成長が見れてとても良かったです。

(クラスⅢ保護者)



● ケーススタディ発表

ケーススタディを発表するにあたり、今までの実習で行った看護を、時間をかけてゆっくりと振り返る機会となりました。自身の新たな課題も見つかり、より頑張ろうという気持ちにもなりました。また、クラスのメンバーのケーススタディを聴講し、より看護についての視野を広げることが出来ました。

残り少ない学校生活もクラスの皆と協力し、乗り越えていきたいと思っています。

(クラスⅢ)



● 授業参観に参加して

先日、授業参観に参加させて頂きました。皆さんの発表を聞きながら、自分が看護学生だった頃の事を思いだし、懐かしくなりました。

実習は大変ですが、実践につながっていくものです。自分も大変ですが、患者様を含め周りの方々のサポートがあってこそ成り立っています。感謝を忘れずに、残りの少ない学生生活が実りあるものになるように、先輩として応援しています。

(クラスⅢ保護者)



📖 実習指導者講習会を終えて

2ヵ月間研修に行かせていただいて、実習指導について沢山のことを学びました。実習でしか学べないことも多いので、学生がその機会を逃さないようにきっかけ作りをしていけたらと思っています。病棟のスタッフとも情報共有し、個々の学生に合った関わり方を考えながら一緒に看護を楽しめる指導者を目指していきたいです。皆さんと実習でお会いできる日を楽しみにしています。

(5階東病棟 看護師)

実習指導について学ぶことで、学生一人ひとりの性格や特徴などを理解し指導したいことを明確にしたうえで、学生の視野を広げることができるよう関わるのが大切であるということを学びました。研修で学んだことを活かし、今後は学生の成長を信じ、学生のもつ力を引き出すことができる指導者でありたいと思いました。

(7階東病棟 看護師)



第50回

日本看護学会－看護教育－学術集会

令和元年8月8日(木)、9日(金)
於：和歌山県民文化会館



発表テーマ：「地域包括ケアシステムを理解するための授業の試み」

地域包括ケアシステムの実現に向け、看護基礎教育でも地域包括ケアシステムに対応できる能力を育てることが必要になってきます。そこで3年生のすべての実習が終わった1月にケアプランの作成の演習をとり入れました。学生は実習が終わっている時期だからこそ、学んだ知識を活用し、患者や支える家族がその人らしく生活するためのプランを作成していました。カリキュラム改正を控えており、多くの方が質問に来てくれました。

(専任教師：松井 里美)

👉 インターンシップに参加して

今回、MFICU(母体・胎児集中治療室)と小児病棟でインターンシップを体験しました。病院に来られる患者さんにはどんな方たちがいるのか、その方々に対して看護師がどのような視線で、思いで看護を提供しているのかなどを実際に見て知ることができました。今までの実習でチームの1人として見る病院と、将来この職場で自分が働くならと考えてみる病院はまた違った見え方でした。そして、自分が将来どんな看護師になりたいかを改めて考え、そのために自分が今すべきことを見つめ努力していこうと思います。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

(クラスII)



オープンキャンパス 6月2日(日)・8月4日(日)～6日(火)・11月2日(土)



令和2年度 入学試験のお知らせ

社会人入試

試験日程: 令和元年11月9日(土)

願書受付: 令和元年10月15日(火)～令和元年10月28日(月) 消印有効

一般入試

試験日程: 令和2年1月22日(水)・1月23日(木)

願書受付: 令和元年12月16日(月)～令和2年1月9日(木) 消印有効

▶ 詳しくは学校ホームページをご覧ください。 <http://himeji.jrc.or.jp/school/>

小児病棟訪問班「夏祭り会」

7月に小児病棟と保育所で夏祭り会を行いました。魚釣りをして、自分だけの風鈴を作りました。準備からしたら子供達に夏祭りの雰囲気を感じてもらえるだろうかと、小児病棟訪問班の学生と試行錯誤しながら完成させていきました。会の最後には、夏の風物詩である花火を上げることで、子供達も興味を示してくれました。子供達が風鈴を鳴らしながら笑顔で喜んでいる姿を見て、これからも子供達が楽しめるような会を企画していきたいと思いました。

(クラスII)

おみやげの
風鈴大きな花火も
上がりました!

編集後記

最近、小学生の息子の口調が私によく似てきて、はっとする時がある。どこで言葉を覚えてきたのかと思うが、実は私が発した言葉であったこともしばしば。いろいろな会話ができるようになった息子の成長を嬉しく感じる半面、自分自身の言動を振り返り、母親としても成長させてもらっている。そして、看護や指導の場面においても、振り返ることを続けられる自分でありたいと思っている。学生の皆さんも、常に自身を振り返りながら、看護師として、人として成長してほしいと願っている。

(専任教師: 神戸 真由美)